

平成30年6月15日

中央大学と八王子市による共同研究
「読書感想文および図書館利用実態に関する研究」の
公開報告会を開催

八王子市は、中央大学と平成29年4月に「包括連携協定」を締結しました。

この協定に基づき、中央大学文学部社会情報学専攻の研究チーム(代表者:教授・飯尾 淳)と市図書館部は、「八王子市における図書館整備および図書館関連教育の向上をはかること」を目的とする共同研究を昨年7月から実施してきました。(※)

このたび、研究テーマ「読書感想文および図書館利用実態に関する研究」の成果報告会を下記のとおり開催いたしますので、お知らせします。

記

1 開催日時

平成30年6月29日(金) 午前10時から12時まで

2 開催場所

八王子市中央図書館(千人町3-3-6) 3階 視聴覚室

3 報告内容・報告者

「図書館利用におけるアンケート調査の経緯と展望」

中央大学文学部兼任講師 長谷川 幸代(はせがわ ゆきよ)

「図書館利用実態の可視化および読書感想文コンクール作品の分析」

中央大学文学部教授 飯尾 淳(いいお じゅん)

「読書感想文コンクール作品の分析とその課題:平成28年度の中学校の部を中心に」

中央大学文学部教授 小山 憲司(こやま けんじ)

※ 共同研究の内容は次の二点です。

(1) 読書感想文コンクールに寄せられる読書感想文の分析

毎年、八王子市内の小・中学生約4千人の応募がある読書感想文コンクールについて読書傾向分析を行い、効果的な読書活動の推進を図ります。

(2) 図書館利用実態に関するデータの分析

利用者満足度調査、地域別利用者数、年代別利用者数、貸出し状況等の総合的な分析を行うことで、効果的な図書館運営について検証を行います。